

ながい 市議会だより



△かわベリング元旦祭（川のみなと長井）

▽祝賀放水（消防出初式）



もくじ

12月定例会の概要	2
一般質問	4
予算特別委員会総括質疑	10
3月定例会日程、傍聴案内	11
市民と市議会との意見交換を開催しました	12
文化財、わだい、おすすめの風景	14

年頭に寄せて



議長 渋谷 佐輔

明けましておめでとうございませう。

昨年は、東北中央自動車道米沢・福島間が開通し、人やモノの流れは大きく変化することが想定されます。長井市の地域経済や市民生活の向上にどのような結び付けてゆくのか。また、人口減少対策等々山積する課題解決のため、知恵と工夫によって持続可能な自治体を構築していかねばなりません。市議会としても、決意を新たに一層の努力を重ねてまいります。結びに、市民皆様のご多幸とご健勝を衷心よりお祈り申し上げます。

12月定例会

平成29年12月定例会を12月4日から22日までの19日間の日程で開催し、報告1件、一般議案11件、補正予算11件、請願1件、閉会中における継続審査1件(請願)について審議を行いました。その結果、一般議案及び補正予算については原案通り可決し、請願は1件を採択、1件は継続審査としました。なお、一般質問には11名の議員、予算総括質疑には4名の委員が質問に立ち、当局の考えをいただきました。(質問等の内容は4〜10頁)

新年度から致芳、西根、平野の3地区にコミュニティセンターを設置

議案第89号「長井市コミュニティセンター条例の設定について」を全会一致で可決しました。この条例は、地域づくり計画の推進による住民の自主的な地域づくりを促進するため、計画策定が完了した致芳、西根、平野地区について、平成30年4月1日からコミュニティセンターを設置するものです。

コミュニティセンターは、これまでの生涯学習等の事業に加え、地域住民の相互交流、福祉、防災等の総合的な地域活動、各種事業の拠点として位置づけられています。コミュニティセンターが行

う事業は、①地域住民が行う

自主的な地域づくり活動の支援②地域住民の相互交流の支援③生涯学習の推進に係わる定期講座、講演会、展示会、体育、レクリエーション等に関すること④施設を市民の集会その他の公共的利用に供することなどで、これまでの社会教育法に基づく公民館事業より幅広い分野において活動することが可能になります。

運営は、これまで同様に指定管理者制度による運営となり、その指定管理料の債務負担行為補正を含む一般会計補正予算を可決しました。

また、議案第91号「長井市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、移行する3地区公民館の名称等を条例から削除する内容であり、

全会一致で可決しました。

市民にどのように周知して理解を深めてもらうのかという質問に対しては、市長から「あやめレポ」で市民にお知らせし、4月からは各地区に出向いて意見交換会を実施すると答弁がありました。

コミュニティセンター移行に伴う変更内容の例

	平成29年度まで	平成30年度から
施設名称	致芳地区公民館 西根地区公民館 平野地区公民館	致芳コミュニティセンター 西根コミュニティセンター 平野コミュニティセンター
所管	教育委員会 (文化生涯学習課)	市長部局(地域づくり推進課) 教育委員会(文化生涯学習課) ※事業に関連する課も関わる
施設代表	公民館長	コミュニティセンター館長
市からの運営費	指定管理料 (施設管理に関する経費、人件費など)	指定管理料 (施設管理に関する経費、人件費) 地域づくり交付金 ・基礎交付金(運営費) ・事業費交付金(地域づくり計画に基づく事業)
運営主体	公民館運営協議会	地区コミュニティセンター運営協議会など(地域の実情に合わせて組織された団体)



致芳地区公民館

※債務負担行為：あらかじめ次年度以降の債務を約束するもの。実際に支出する年度に改めて予算に計上しなければならない。

主な議案（一般会計補正予算の中から）

◇住民票等コンビニ交付事業（5,357万円）

コンビニ交付は、マイナンバーカードを利用して市が発行する証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）を、全国のコンビニエンスストア等のキオスク端末（マルチコピー機）から取得できるサービスです。住民票の写し等が取得しやすくなり、市民生活の利便性を高め行政サービスの向上を図ります。

平成30年10月1日に導入予定。（酒田市、山形市、鶴岡市に次いで県内4番目）



◇子育て応援アプリ運営事業のシステム運用保守業務委託料の債務負担行為（39万円）

子育て世代への情報提供として、市報、ホームページのほかに新たな情報発信が必要とされているため、子育て世代が最も活用するスマートフォンアプリによるサービスを提供します。家族や離れて暮らす祖父母と子育て記録の共有もできるようになります。平成30年4月稼働予定。

配信の内容：電子母子手帳メニュー（母親の健康記録、子どもの成長記録、予防接種スケジュール管理等）
地域子育て情報メニュー（行政情報、地域ニュース・イベント、子育て支援施設、救急相談等）

請願

採択

法讃寺通り（いちまた～渡部理容店間）の消雪化促進についての請願

（請願者 法讃寺通り消雪化推進の会 呼びかけ人 今泉義憲氏ほか4名）

平成29年12月定例会 議案等に対する賛否一覧表 （下記以外については全会一致で可決されています）

議案等名	議席番号 議員氏名	議決結果	賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				宇津木正紀	浅野敏明	金子豊美	内谷邦彦	平進介	鈴木富美子	渡部秀樹	今泉春江	梅津善之	赤間泰広	小関秀一	五十嵐智洋	蒲生光男	安部隆	町田義昭	渋谷佐輔
請願第4号 法讃寺通り（いちまた～渡部理容店間）の消雪化促進についての請願		採択	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号 憲法9条を改憲しないよう国に求める意見書提出の請願		請願審査	9:6	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。

○は賛成、●は反対、（請願第2号は、継続審査とすることに○は賛成、●は反対）、議長（渋谷佐輔）は採決に加わらない。

★平成29年12月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は、市議会のホームページに掲載しています。

市庁舎等建設調査特別委員会の活動状況

市の公共施設は築30年以上経過した施設が6割を超え、市庁舎等の大規模施設整備が目前に迫っている状況です。市は公共施設等整備計画をもとに新庁舎整備基本構想の策定を進め、その検討状況については昨年3月の市議会全員協議会で説明を受けましたが、議会でも財政面、まちづくりの視点から市庁舎等の整備について調査研究を行うことを目的に特別委員会を設置しました。

特別委員会は、6月15日に第1回委員会を開催し、公共施設整備課から今後の具体的スケジュール、整備手法、財源、新庁舎整備基本構想等について報告を受け、その後本年1月まで10回の委員会を開催しました。その中で、新庁舎整備基本計画の策定状況、当局の視察報告（長岡市・新発田市）、庁舎面積算定基準（総務省及び国土交通省）、新庁舎整備市民検討委員会の状況、市民アンケート調査等について、担当課からの説明を基に協議を行いました。また、長井駅周辺の建設候補地現地視察を行い、候補地の一つヨークベニマル跡地についても情報収集を行いました。今後は、当局から提示説明を受けた資料等に基づいて、調査・研究を行います。



五十嵐智洋

コミセンで有償ボランティア事業を

問 間口除雪など地域でできる事業の検討

を配置する必要があると考えます。

コミセン運営のための基礎費用が30万円です。今後、平等割、戸数割等で増額することも検討してまいります。

Q. コミュニティセンター運営を住民の皆さんから協力していただくためには、多くの方が賛同する「目玉事業」が必要です。高齢者世帯の雪下ろし、除雪、草刈りなどを請け負う有償ボランティア事業を立ち上げ、地域共助の精神を醸成すべきです。

自主性に任せることも大切ですが、新事業について有力な指針を示すことが行政、政治の役割と確信します。

A. コミセン事業の一番の課題は、地域福祉だと考えます。市や社会福祉協議会だけでは地域に入り込むマンパワーが足りません。間口除雪や雪下ろし、買い物、通院、健康維持やサロン機能等、行政では手の届かないところに地域でできる事業がないか一緒に考え取り組んでまいります。

Q. 公民館のコミュニティセンター化を前向きに進めるには、事務局機能の強化など人の支援が欠かせません。市職員として経験を積み、各地区の実情に精通した再任用者を派遣すべきです。

コミセン事業を成功させるには、有意義な新規事業に取り組みが必要があり、そのための交付金が30万円程度では少なく増額を求めます。

A. 再任用職員を派遣することは困難ですが、兼務でコミセンを支援する地区担当職員



市内の空き家は3年で32%増え460件に



吹雪中の除雪作業



宇津木正紀

県司法書士会と空き家等対策協定は

答 弁 早急に協定を結びたい

Q. 空き家となる原因は、所有者の死亡による管理の未継承が多いとされています。管理者と連絡不能の空き家数はどれくらいありますか。

A. 管理者と連絡がとれない空き家数は、460件のうち8件です。他の452件は何らかの方法で連絡がとれています。

Q. 上山市は、県司法書士会と空き家等の対策に関する連携協定を県内で初めて結びました。長井市はこのような協定を結ぶ考えはないですか。

A. 早急に、できれば今年度中にも締結したいと思っております。

Q. 緑が丘斎場で火葬の後に残る残骨灰を、引き取った後に手厚く供養し、適正な処理を行ってほしい。事業者が優先して委託するべきだと思っております。これからの考えをお聞かせいただけます。

A. 事業者がどのような手厚い供養をしているか、緑が丘斎場へどんな供養品を提供されるかを考慮して、事業者を選定し決めていきたいと思っております。

Q. 長井市の空き家は、平成26年3月末の349件から平成29年には460件と、3年間で111件、32%増えていきます。このたび、「空家等対策計画」案が示されました。計画策定による効果はどんなことですか。

A. この計画策定による大きな効果は、①庁内の役割を明確にして、全庁的な取り組みを行うこと②危険な空き家の除去と空き家の再生利用には国の補助が使えるようになったことの2点です。

Q: 今年羽越水害50年巡回パネル展が県内で開催されました。県史上空前の大被害を受けた教訓から学び後世に伝えるため、改めて防災訓練などの機会にパネル展を開催すべきではないですか。

A: 市民の危機管理意識を高めるためにも、今後各種行事等におけるパネル展示等を検討してまいります。

Q: ゲリラ豪雨や線状降水帯などによる内水被害対策として、排水ポンプ車の配置を要望すべきではないですか。



浅野 敏明

ハザードマップを早期に作成・配布すべき

弁 答 市民に必要かつ有効な情報提供手法を

Q: 新たな洪水浸水想定区域の洪水ハザードマップと、長井盆地西縁断層帯による地震が発生した場合の震度分布などの調査結果に基づき、地域ごとの震度や避難場所、緊急輸送道路などを示した地震ハザードマップを早期に作成・配布すべきではないですか。

A: 市民にどういった形での情報提供が必要かつ有効なのか、先進事例等を基に検討してまいります。

Q: 総合型地域スポーツクラブは、長井市を代表する「花スポ」として、今後自立するための展望と組織・体制をどうするのか伺います。

A: 市内スポーツ施設の指定管理者と一体となり、利用者のニーズに合わせた事業の充実と体制の整備、会員数の増加を図っていきます。

Q: 新たな洪水浸水想定区域の洪水ハザードマップと、長井盆地西縁断層帯による地震が発生した場合の震度分布などの調査結果に基づき、地域ごとの震度や避難場所、緊急輸送道路などを示した地震ハザードマップを早期に作成・配布すべきではないですか。

A: 市民にどういった形での情報提供が必要かつ有効なのか、先進事例等を基に検討してまいります。



子どもたちの活発な授業



羽越水害50年巡回パネル展

Q: 平成29年度の「全国学力・学習状況調査」の結果が公開され、山形県は都道府県別で小学生は全国40位、中学生は34位でした。ここ数年毎年順位が下がり、特に応用問題が弱いようですがどのように対応するのですか。

また、高校で3年間過ごした後、全国の学生と大学受験等で競争をすることになりますが、最初からハンディを負うことにならないよう、すべての子どもたちの学力を底上げする環境を学校以外でもつ



内谷 邦彦

学力を底上げする環境をつくれぬか

弁 答 友達との交流やきめ細かい指導で学力をつけたい

A: 長井市の中学生は県平均を上回り全国と同等の結果でした。友達と交流する時間や習得したことを活用する時間を確保し、さらに応用力を伸ばすように努めてまいります。

今後も探究型学習を推進し一人一人へのきめ細かい指導でつまづきを克服させ学力の底上げを図りたいと思います。

Q: ふるさと納税について、総務省から返礼割合を寄附金の30%以下とする通知が出されましたが、どのように対応するのですか。また、寄附金の使い道や充当した事業等の成果を、市民や寄附者に報告することが大事だと思いませんか。

A: 総務大臣及び総務省自治税務局市町村税課長からの通知を踏まえ、市外の方に対するお礼品の返礼率を、11月下旬から、寄附金の30%以下としました。また、寄附者は長井を応援して下さる方で、継続的なつながりも重要であることから、成果等の報告について見直しを図ります。

くることはできませんか。

A: 長井市の中学生は県平均を上回り全国と同等の結果でした。友達と交流する時間や習得したことを活用する時間を確保し、さらに応用力を伸ばすように努めてまいります。

今後も探究型学習を推進し一人一人へのきめ細かい指導でつまづきを克服させ学力の底上げを図りたいと思います。

Q: ふるさと納税について、総務省から返礼割合を寄附金の30%以下とする通知が出されましたが、どのように対応するのですか。また、寄附金の使い道や充当した事業等の成果を、市民や寄附者に報告することが大事だと思いませんか。

A: 総務大臣及び総務省自治税務局市町村税課長からの通知を踏まえ、市外の方に対するお礼品の返礼率を、11月下旬から、寄附金の30%以下としました。また、寄附者は長井を応援して下さる方で、継続的なつながりも重要であることから、成果等の報告について見直しを図ります。



金子 豊美

地区公民館のコミセン化は組織の基礎づくりを大切にすべき

弁 答 地域に合った組織づくりを地域と一緒に進める

Q. コミセン化に向け市民への周知方法、理解を得ることについて、対象者に合った説明を丁寧にしていくべきと考えますがいかがですか。

A. あやめレポへの掲載、座談会や意見交換の場を設けるなど、いろいろな機会にできるだけ市民目線でお知らせするよう努めます。

Q. 現在コミセン化の準備を進めている3地区について、担当課から2つの運営組織図が案として配布されています。各地区には、これまで地域づ

くりの窓口として活動してきた組織もあります。その組織と連携しながら、まずは地域の特性を生かし、組織の基礎づくりを大切に、自分たちで無理なくできることから取り組むことが第一だと考えますがいかがですか。

A. 地域全体で組織化する形のたたき台を示しましたが、各地区これまでの経過もあり、地区に合った運営体制をつくっていただきます。事業についてもそれぞれの地区に合ったことができることから取り組んでいただきたいと考えます。

Q. 担当課の職員が各地区公民館を訪問し、職員との情報交換を行ったようですが、現在の課題は何か。また、今後の対応はどうするのかお聞きします。

A. コミセン活動を実感するには、事業の成功例をつくる必要があります。そのためには、地区の事情に合ったしつかりした組織づくりが必要です。担当課の職員が引き続き地域に入り、一緒になって進めてまいります。



ごみ収集作業



コミセン化に向けた研修会



梅津 善之

公共施設への設備投資による将来の負担は

弁 答 実質公債費負担額は目標値を下回る

Q. これから新庁舎建設も含め、さまざまな公共施設への設備投資として多額の費用が発生しますが、将来の財政面での負担をどのように捉えていますか。

また、新庁舎建設の場所について、新聞報道等では長井駅周辺というようなことも出ていますが、どのような考え方で進めていくのですか。

A. 公共施設等整備計画では、市庁舎などの整備後も、実質公債費負担額は、第五次総合計画の目標額を下回るものと

考えていますが、経費削減をしながら、将来の見通しを立て事業を実施していきます。市庁舎については、国の支援を受けることから、見直しは考えていません。

Q. 中央地区の燃えるごみ収集が週1回となっています。乳児や介護を必要とする方のおむつ等があることから、安心で安全な市にしていきたいために、衛生面での対策として、収集を週2回にしたいだけないかお聞きします。

A. 置賜広域行政事務組合関連自治体と調整しており、今後は中央地区衛生組合の皆様と相談し、来年4月実施に向けて現在全力で調整しています。

Q. 人口減少の試算がされている中で、中学校の在り方については、再編も含め、生徒数に応じた長期的な検討が必要ではないですか。

A. 今後も人口減少に歯止めをかけることを第一に具体的施策を推進していきます。そのうえで生徒数の変化を注視し、慎重に検討していきます。

Q: 「読み聞かせ」で生き抜く脳、世界と渡り合え、何事にもチャレンジする判断を司る「心の脳」を磨くとして、英語教育に加え、幼児期からの音読と読み聞かせによる脳科学の根拠に基づいた「早期国語教育」の意義は何ですか。

また、家庭の教育力の低下や学力の低下を解決するため、教育委員会と厚生部門の体制を整えるべきではないですか。

A: 「読み聞かせ」は、親の意識を大きく変え「親育ち」につながるのと同時に、子ども



鈴木富美子

教育委員会と厚生部門の体制をワンストップで

弁 答
さらに望ましい体制の構築を検討

ちは精神的な拠りどころを得られ、困難に挑戦することも容易になります。また、国語の早期習得で、すべての学びの基礎づくりとなります。現在、教育委員会と厚生部門は横断的な連絡会議等により連携していますが、さらに望ましい体制を検討していきます。

Q: 2020年オリンピック・パラリンピックのホストタウンについて、市民の皆さんも盛り上がるよう、マラソン大会等にタンザニアの選手を招待するなどの施策も必要ではないですか。

また、インバウンドも含め、選手の家族や応援団等の受け入れ対策として、空き家を利用したゲストハウスなどの整備も今から必要と思えますがどうですか。

A: 市長を含む20名の市民訪問団がタンザニアを訪問、往年の名マラソン選手イカンガーさんと会談し、長井マラソン大会への参加を要請しました。ゲストハウスについては国の補助事業などを活用しながら整備を図ります。

「嘉永堰・昭和堰」が残る西山



「嘉永堰・昭和堰」が残る西山



脳を鍛える授業手法（^{かげやま}陰山メソッド）公開授業

Q: 今年7月、警察庁刊行の「平成28年の犯罪情勢」によると、人口10万人当たりの刑法犯認知件数は、山形県が全国平均の半分程度と非常に低い状況です。市総合戦略において、子育て支援や学校教育支援を進める中、犯罪の抑止力・防犯のため、LED防犯灯の増設整備計画を策定し、さらに安全安心な地域づくりを推進してはどうですか。

A: 平成30年度には3千基を超える市内すべての防犯灯のLED化工事が完了します。



平 進介

防犯灯の増設整備計画を

弁 答
増設整備計画を策定し計画的に増設する

Q: 「嘉永堰・昭和堰」は、江戸時代の嘉永年間に大干ばつが発生した際、勸進代村の人々が、野川布谷の上流から南沢へ水を通すため、苦難の工事の末に完成し、その後、昭和に拡幅補強工事が行われた市の貴重な土木遺産です。

市指定史跡「桶佐堀」と同時期に整備された堰ですが、市指定史跡の可能性はありますか。また、葉山観光資源の一環として活用できませんか。

A: 嘉永堰と昭和堰は貴重な土木遺産だと認識しています。市指定史跡とするかについては、歴史的価値や管理等も含めて十分に議論を重ねていきたいと思えます。また、観光資源としての活用については、安全面や維持管理、看板整備等の課題を関係者等と協議・検討していきます。

地域の皆様方のご協力を得ながら、新たに防犯灯設置に要する箇所を把握し、来年度新たに増設計画を策定し、年次計画を立てて計画的に防犯灯の増設を行い、明るいまちづくりを推進します。

Q: 「嘉永堰・昭和堰」は、江戸時代の嘉永年間に大干ばつが発生した際、勸進代村の人々が、野川布谷の上流から南沢へ水を通すため、苦難の工事の末に完成し、その後、昭和に拡幅補強工事が行われた市の貴重な土木遺産です。

市指定史跡「桶佐堀」と同時期に整備された堰ですが、市指定史跡の可能性はありますか。また、葉山観光資源の一環として活用できませんか。

A: 嘉永堰と昭和堰は貴重な土木遺産だと認識しています。市指定史跡とするかについては、歴史的価値や管理等も含めて十分に議論を重ねていきたいと思えます。また、観光資源としての活用については、安全面や維持管理、看板整備等の課題を関係者等と協議・検討していきます。



今泉 春江

レインボープランの今後の方向は

弁 答
協議会とともに
事業の継続を

Q: 地域循環型農業として台所と農業を結ぶレインボープランは、20周年を迎え、全国の市町村や外国からの視察、大学の調査研修など多くの方々から注目されてきました。しかし、コンポストセンターの老朽化や生ごみの減少、現在の補助金での運営方法など問題や課題があります。市民に堆肥のサンプルをプレゼントし、賛助会員を募り事業のPRやつながりをさらに強めてはどうかですか。どのよう

今後の方向性を伺います。

A: 地域循環、安全、安心、環境改善という取り組みはこれからも一貫して目指していきます。事業開始以来、国内外から3万4千人以上、40か国を超える国から視察、調査研究を受け入れてきました。コンポストセンターの老朽化は、機械施設の更新や修繕で対応し、生ゴミの減少対策は広報等で事業の理解を深めていきます。行政と協議会の協働は補助金での運営がよいと考えます。市民への還元などは検討すべき内容と思います。

Q: 観光交流センターはまちなかにお客さん呼び込む目的で建設されましたが、本町の大型店撤退後の跡地利用なども含め、中心市街地活性化は進んでいません。活性化は市として責任があると思えます。中心市街地活性化の進捗状況はどうなっていますか。

A: 観光客を誘導する大型バスの補助、クーポン券、麺・菓子本の配布など14事業を展開しています。今後5年くらいを見てほしいと思います。



婚活パーティ (イメージ)



レインボープランコンポストセンター



赤間 泰広

「結婚新生活支援事業」を導入すべき

弁 答
来年度から事業に
取り組みたい

をかなえる」を掲げており、結婚を希望される方への精神的な後押しとなるこの支援事業は、来年度から取り組むよう検討します。

Q: 受動喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、脳卒中と因果関係があるとされ、国立がんセンターは死亡者数を年間約1万5千人と推計しています。たばこの健康被害をさらに市民に啓発していくとともに、東京オリンピック・パラリンピックにむけ、本市でも強力に進めていくべきです。

A: 施設内、あるいは敷地内禁煙、特に公共施設の禁煙を基本的な考え方として、受動喫煙のない環境づくりを進めます。喫煙者への配慮もしつつ、今後いろいろ調査しながら検討していきます。

Q: 子育て支援と同様に、在宅介護支援に係るおむつ用ごみ袋の提供はできませんか。

A: おむつ利用の高齢者を把握することは非常に難しいですが、おむつ支給事業対象者に限定すれば可能だと思いますので、現在検討しています。

Q: 国は現在、結婚に伴う住居費や引越費費用などを補助する「結婚新生活支援事業」を行っていません。夫婦合計で年間所得340万円未満まで、補助額も24万円まで拡充しました。国が経費の4分の3を補助し、残りを自治体が負担する仕組みで、若者が支援を受けやすい環境になりました。ぜひ本市でも導入すべきと思いますがどうですか。

A: 市の総合戦略でも、基本目標の第一番目に「若い世代の結婚、出産、子育ての希望

Q: 市庁舎をはじめとする公共施設等整備計画の総事業費が150億円ということですが、「道の駅」の事業費が計画より増額になったように、市の将来の負担を考えると不安を感じます。計画に概算事業費、前期5年約111億3千万円、後期5年約29億9千万円に変更はないですか。

A: 現時点では変更していませんが、事業費には用地取得費は含まれていないため、具体的な検討を進める中で変更は出てくるものと考えます。

弁 答
検討委員会や市民アンケートにより意見を反映

新庁舎の整備はもつと若者の声を聴くべき



小関 秀一

Q: 整備中の長井小第一校舎の利活用に、公共的機能（教育委員会・美術館）は検討できませんか。

A: 市民の皆様からも、絵画などの美術品や、歴史的資料などの展示機能の要望が出されており、現在策定中の基本計画の中で検討します。

Q: 財政5年間の見通しを公表していますが、かねてから私が主張している「20年、30年後の財政計画」を今こそ検討すべきと思いますがどうですか。

A: 実質的に狂いのない計画は、5年程度と考えています。公共施設等整備計画をベースにした10年程度の見通しは必要と考えています。

Q: 新市庁舎整備検討委員会に女性・若者が少ないと感じます。候補地も含め、長井市の百年の計に多くの市民の声を反映すべきです。

A: 検討委員は公的団体の代表の方や学識経験者など15名にお願いしています。そのほか市民アンケート調査により市民の声を反映しています。



整備中の旧長井小学校第一校舎

タンザニア訪問
〜東京五輪のホストタウンに向けて〜



野球を楽しむタンザニアの子どもたち

「長井市民訪問団（団長・内容重治市長、20人）の一員として市議会から渋谷佐輔議長が参加。昨年10月1日から11日まで、タンザニアとドイツの姉妹都市バートゼッキンゲン市を訪問しました。

長井市は、東京オリンピック・パラリンピックに向け、タンザニア連合共和国のホストタウン相手国として登録されています。市への事前合宿誘致や連携強化を図るため、政府スポーツ当局や五輪委員会を始めとする各競技団体等への表敬訪問を行いました。

また、バートゼッキンゲン市では、ゼッキンゲン・長井友人協会の皆さんとゼ市施策や東京オリンピックの取り組みについて情報交換しながら交流を深めました。

以下、議長の報告書から。

*** ** **

2年後の東京オリンピック・パラリンピックという国民的行事を成功させなければならぬ中で、市がホストタウンとして何ができるのか、今後のまちづくりにどう活かして



五輪委員会を訪問

ゆくか。このたびの訪問は、議会を代表しての役目であり、これからの議会審議に大きな意味があるものと気を引き締めて参加しました。

タンザニアを訪問し感じたことは、何といたっても言葉が通じないことが悔しく、片言の英語ではダメでした。また、成田から約22時間とにかく遠い距離感はありません。

インフラや市民生活環境は遅れていますが、外国投資の進出で近代文化的市民生活は急速に進むだろうと感じました。既にインドや中国の支援が進み、大型建築現場には中国語の表示が目立っています。

予算特別委員会総括質疑

スムーズなコミセン化をどう図る

平進介委員 コミセン化に向け、スモールスタートとは。

市長 これまでの地区公民館事業を、地域づくり計画を通し、できることから一歩ずつ進め発展させていきたい。

委員 (仮称) 地域づくり交付金事業の範囲と開始時期は。

市長 基礎交付金(30万円)のプラスも考慮し、事業の範囲は地域づくり計画に掲載された全体を対象とします。また、開始時期は、予定どおり30年度から開始したいと考えています。

委員 人的支援はありますか。

市長 法的な面も含め、条件を整理する必要がある。併任辞令で地域担当のアドバイザー的な形など、館長会議等で意見交換し判断していきたいと思います。

委員 NPO法人化についてはどうですか。

市長 今後、事業を進める場合、会費や負担金を集めるの

であれば、税に関わる部分が生ずることから、法人化の必要性等も地元と相談しながら進めていきたいと思えます。

国保の保険税額が急激に変わらないように

宇津木正紀委員 本年度の当初予算に計上している給付基金繰入金の取り扱いについて、給付基金の取り崩しはないのでしょうか。

市民課長 現段階で取り崩しは不要と考えています。

委員 来年の4月から市町村に加え、県が国保の運営主体となります。給付基金の扱いはどうなるのでしょうか。

市民課長 来年4月からも市町村は継続して給付基金を持ち続けます。県への国保事業費納付金支払いの財源が不足した場合に取り崩し国保会計に繰り入れることとなります。

委員 県の国保保険税額の算定方法は、これまでの所得割、資産割、均等割、平等割の4方式から資産割を除いた3方

式になります。これによる保険税額の激変緩和策はどのように考えていますか。

市長 平成35年度までに3方式へ移行するのが努力目標であり、国民健康保険給付基金を活用し、急激に保険税額が上がないように段階を経て実施したいと考えています。

子育て応援アプリ導入による運営事業の充実を

鈴木富美子委員 子育て応援アプリを導入することによりどんな効果が得られますか。

子育て推進課長 従来の母子手帳も活用しながら、予防接種のスケジュール管理や成長の記録を家族で共有できます。手軽に地域の子育て情報が得られるなど、子育てが少しでも楽になる効果が大きいと考えられます。

委員 子育てに関する厚生部門や教育委員会などの担当部門の情報も必要と考えられますが、ワンストップの対応は考えているのですか。
厚生参事 子育て推進課の中

心とした厚生部門に教育部門を加え、妊娠・出産・育児までの切れ目のないワンストップサービスを目指しています。

委員 運用開始時期はいつ頃を予定し、PR方法はどのようなのですか。

厚生参事 本稼働は、平成30年4月1日。試験運用は、平成30年2月20日から開始予定です。市のホームページや市報への掲載、チラシ等でお知らせします。

長井小学校の仮設昇降口は最大限費用を抑える努力を

内谷邦彦委員 管理棟建設に伴い、現昇降口の解体により昇降口等を仮設にする必要があり、そのリース料として月653万円、総額5千877万円かかるとしています。今回の案のほか何案検討されたのですか。

教育参事 時間的な制約もあり、一応概算で計上させていただきます。

委員 仮設となると、完成後解体され何も残らない。体育

館の下に昇降口を設置する案や渡り廊下を最短距離にする案など、最大限費用を抑える努力が必要ではないですか。

教育参事 費用を抑えるために体育館の下を囲って昇降口とする案等を学校側と協議を行っているところです。

委員 マイナンバーカードを使用し、市が発行する証明書類をコンビニで取得できる事業について、現在時間外で対応している証明書発行は継続するのですか。

市民課長 証明書発行の時間外交付の存続・廃止は今後の検討課題と考えています。



解体予定の昇降口

議会を傍聴しませんか

—議員と当局の活発な議論をご覧ください—

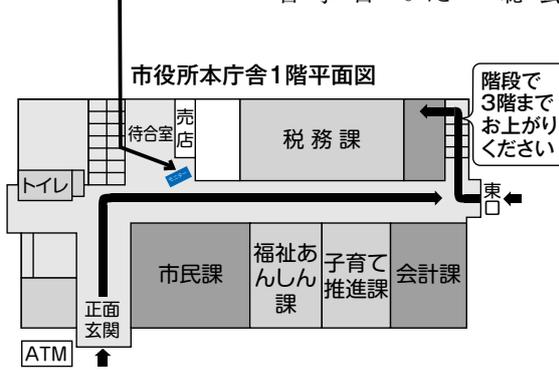
○議場の傍聴席で傍聴できます。

本会議や予算特別委員会の当日、市役所3階の傍聴席入り口にある受付簿に、住所、氏名等を記入するだけで、気軽に傍聴できます。団体で人数が多い場合は、日程を確認したい場合は、事前に議会事務局にお問い合わせください。

○市役所1階 市民課前の待合室（売店の横）のテレビモニターでも生中継をしています。

○インターネットで生中継や録画放送を視聴できます。

ご自宅のパソコンなどでご覧いただけます。インターネットで「長井市議会」と入力して検索するか、長井市役所のホームページからご覧いただけます。また、ホームページには、過去の定例会の会議録も掲載しています。



次回 3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	2月	13 全員協議会	14 総務	15 文教	16 厚生	17
		常任委員会協議会				
18	19 産業・建設 常任委員会協議会	20 常任委員長会	21 招集告示	22	23	24
25	26 議会運営委員会	27	28 本会議(開会) 予算特別委員会	3月 1	2	3
4	5 予算特別委員会 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8 総務	9 文教	10
		常任委員会				
11	12 厚生	13 産業・建設	14 予算	15 予算	16	17
		常任委員会		特別委員会		
18	19 予算 特別委員会	20	21	22 本会議 (表決・閉会)		



○請願の提出期限は、2月13日(火)の予定です。
○正式な日程や質問内容などを、市議会のホームページでお知らせしています。

長井市議会ホームページ

長井市議会

検索



金子 豊美 鈴木富美子 内谷 邦彦 浅野 敏明
○平 進介 ○渡部 秀樹

(○委員長 ○副委員長)

ながい市議会だより 編集特別委員会

今年、雪の降り始めが早く雪の中での年明けとなりました。長井市にとって重要な課題である、様々な公共施設整備が本格的に動き出す年となります。よりよい方向に進めるよう、議論を行い提案・提言を行ってまいります。ぜひ市民の皆様方のご意見、ご要望をお寄せください。お待ちしております。

(K. U)

編集後記



会場の様子 (西根地区公民館)



伊佐沢学童クラブ

意見・提言・要望・質問等	回 答
<p>伊佐沢の学童クラブを小学校の空き校舎に建設するというのは不可能なのか。</p>	<p>伊佐沢小学校は、もともと1学年に1学級しかなく、児童数が減っても空き教室ができないため学童クラブ施設を新たに建設しました。 豊田地区では小学校の空き教室を米沢養護学校が利用し、西根地区では小学校を利用して学童クラブを実施しています。</p>
<p>高齢者の一人暮らしが増えているが、民生委員のなり手がいないのではないかと。</p>	<p>地区役員の改選が4月に行われるため、12月に民生委員の改選をする際に人材がいなくなることが問題です。今後は早めに民生委員の改選対応をして、問題解決につなげるよう対策を図るとしています。</p>
<p>置賜三十三観音のうち市内には6か所あるが、馬頭観音以外は所有者や地区長等が管理の面で悩んでいると思うので目を向けてほしい。</p>	<p>地域の宝である文化財の保護・管理は大きな課題ですが、現状では、市指定文化財以外で特定の宗教関係の所有物等に対する市からの保存、修繕等の直接補助はありません。民間の財団等で実施している文化財保護関連の助成金の情報を各地区公民館にお知らせしていますので、活用を検討していただきたいと思います。</p>
<p>自治公民館の修繕事業等に対する支援が行き渡っていないと思うがどうか。また、自治公民館活性化事業は一律の補助なのか。</p>	<p>自治公民館への補助金は、新築、増改築、補修、設備事業などに対する補助金(施設及び設備事業)と地域の活性化のためにテーマを持って行う事業や公民館の管理運営に対する補助金(活性化事業)があります。申請する事業内容によって補助金の額が決定されます。</p>
<p>イノシシの被害が出ている。電気柵等の支援拡大を含め、地域住民が安心して住めるように対策が必要なのでは。</p>	<p>議会の一般質問で、^{わな}罾の貸出や猟友会との連携による対応を求める提案がありました。今後も一般質問等で、対応状況の確認や要望をしていきたいと思っています。</p>
<p>道の駅「川のみなと長井」の東側の堤防からの眺めが悪い。敬老会等で利用することもあるが、今後車イスに対応した整備はされるのか。</p>	<p>河川敷の景観については、今後の草刈りなど環境整備も含め課題となっています。 堤防から川面が見えるように、平成30年12月末までの予定で国土交通省に雑木等の伐採を進めていただいているところです。また、タス裏から道の駅南側までの区域については、最上川河川緑地整備事業で駐車場、緑地、グラウンド、芋煮広場等を整備する予定です。 四季折々に変化する最上川の景観を楽しんでいただけるよう、フットパスコースとあわせてバリアフリーに配慮した整備を進めていくとしています。</p>

※いただいた意見等を要約して掲載しています。回答は会場でお答えした内容ですが、一部各担当課と協議のうえまとめています。



会場の様子 (伊佐沢地区公民館)



道の駅脇堤防より最上川を望む

意見交換会に関するご意見、ご要望は、市議会事務局までお願いします。
電話 87-0812

ご質問、ご意見にこたえます

第6回市民と市議会との意見交換会

～さらなる市民参加と開かれた議会を目指して～

11月6日から10日に第6回市民と市議会との意見交換会を開催しました。

市議会では議会の活性化と情報公開に向けて活動しており、このたびの意見交換会でも、6月、9月定例会の審議内容を中心に、議会で考えている課題などについて説明や報告をさせていただきました。

市民の皆さんからは、暮らしの課題や要望、ご意見を数多くいただき感謝申し上げます。

1. 開催状況

対象地区	会場	開催日	参加人数	班
平野地区	平野地区公民館	11月6日(月)	13人	1班
中央地区	交流センターふらり	11月6日(月)	8人	2班
豊田地区	豊田地区公民館	11月7日(火)	11人	1班
伊佐沢地区	伊佐沢地区公民館	11月7日(火)	9人	2班
致芳地区	致芳地区公民館	11月8日(水)	10人	3班
西根地区	西根地区公民館	11月10日(金)	11人	3班

班	担当議員
1班	◎安部 隆、宇津木正紀、鈴木富美子、小関秀一、五十嵐智洋
2班	◎蒲生光男、浅野敏明、金子豊美、渡部秀樹、赤間泰広
3班	◎町田義昭、内谷邦彦、平 進介、今泉春江、梅津善之

◎は班代表者。議長(渋谷佐輔)は全ての班を統括する。

2. 意見・要望等(概要)

意見・提言・要望・質問等	回答
新しい市庁舎の建設予定地は、広く市民の意見を求めるべきだ。これから人口が減るのに、大規模な施設は必要ないのではないか。	現在の市庁舎は、浸水の可能性が高いと指摘されたため、候補地等について市民の代表者による検討委員会を立ち上げ検討されています。 庁舎建設の検討内容を丁寧に市民に示すべきと考えますが、議会でも議論を深めていきます。
地区公民館のコミュニティセンター化について困惑している。計画のたたき台を示してほしい。また、根拠法令はどうなっているか。	コミセン化については、行政側からではなく、これから自分たちの地域をどのようにしていくのか、地域で考え議論して作り上げていくものだと思います。具体的な支援方法があれば、議会としても情報提供をしていきたいと思います。 コミュニティセンターは、地方自治法第244条の規定に基づく公の施設で、目的や事業等については、条例、規則等に規定して運営していくこととなります。



新築移転が計画されている市庁舎



会場の様子(豊田地区公民館)



今年の出来は？しめ縄を奉納

12月31日、成田八幡神社に新しいしめ縄が奉納されました。毎年12月の第3日曜日に獅子連OBの指導のもと、藁(わら)しごき、藁打ち等を行い、10代から50代までの獅子連中の手で作られたしめ縄です。藁仕事を通じて伝統文化の継承と後継者の育成を目的に、森の津島神社等でも行われています。



議長席に座った感想は

11月16日、長井小学校の生活科「にじいろ町探検」学習として、2年生の子どもたちが議場を見学しました。議会の役割や仕組みについてメモを取り、元気に質問していました。順番で議長席に座り、初めての体験に興味津々の表情でした。

わ
だ
い

長井市の文化財



菅原白龍筆

こがねいしゅんせい
黄金井春霽

にっこうばくふず
日光瀑布図



出典『長井の文化財』

菅原白龍は、天保4年(1833)に当時の豊田村時庭で生まれました。青年期には、画学修行で全国を巡り、その個性と創意から「明治南宗画壇の先覚者」と呼ばれました。

日本を代表する富士山と桜を描いた『黄金井春霽』(50×44・5^{ナセ})と日光の華厳の滝を描いた『日光瀑布図』(60×44・50^{ナセ})は、洋画の表現方法を取り入れて描いた対の作品です。

明治30年(1898)には、シカゴ博覧会で銅牌^{どうはい}を受賞しました。(菅原信道氏所蔵)

おすすめの風景



最上川発祥の地から望む
葉山連山



飯豊連峰・種蒔(たねまき)山を水源とする白川合流点より上流の最上川は、以前は「松川」と呼ばれていました。白川と合流して初めて最上川の名前になったと言われ、ゆったりとした松川に、流れの速い白川が入り込んで白波を立て、川はS字を書いて下流を目指します。